

2020年度

一般社団法人北海道まちづくり協議会

事業計画



■ 2020年度事業計画及び収支計画

2020年度事業計画

自 2020年4月 1日

至 2021年3月31日

(1) 2020年度の活動テーマ

『地方都市のまちづくりの課題を探る』

昨年度の活動テーマである「地方都市のまちづくりの課題を探る」については、相談事業や座談会企画等による各市町村への来訪とヒアリング、まちづくり研修会における北海道建設部住宅局や北海道立総合研究機構との共同企画等を通じて様々な情報や知見を得ることができた。

今年度は、このような自治体や各種団体との交流を継続するとともに、新たな交流の機会を広げることにより、更にまちづくりの課題についての情報収集を進めていくこととする。

(2) 活動方針

①専門部会活動・実践研究会の展開

- ・各専門部会は、これまでの活動を継続的かつ発展的に展開するとともに、重点取組事項の実践を通じて、活動の魅力向上を図るとともに、部会員の増加等、組織体制の強化を図る。
- ・実践研究会は、新規研究会の設置を推進するとともに研究会員の増加等、研究会活動の活性化に努める。
- ・専門部会、実践研究会ともに、活動の成果を明確にするるとともに、これを検証し、広く情報発信を行う。

②行政・他団体との交流拡大

- ・国、北海道、市町村との技術的な情報交換、人的交流の拡大を図る。
- ・まちづくりに関わる各種団体との積極的な交流を進め、技術的な情報交換、人的交流の拡大を図る。
- ・活動テーマに沿った情報交換、情報提供を積極的に行う。
- ・まちづくり関連団体との連携強化を図る。

③会員サービスの向上と会員数の増加

- ・会員の満足度向上のため技術的な情報提供等、各種取り組みを行う。
- ・法人会員、個人会員、賛助会員、特別会員の増加に向けて活動する。
- ・各活動の活性化を図るために、懇親、交流等の会員の参加機会を促すための取り組みを進める。

④財政収支の安定化

- ・会員増加に努め、当協議会における財政基盤の強化を図る。
- ・公益目的事業を支えるため、委託事業など収益事業の確保に努める。
- ・効率的な管理、事業実施に努め、適切な財政運営を行う。

### (3) 事業計画

#### ①まちづくり支援事業部会

- ・市町村等相談事業の実施（現地意見交換会：3市町村を想定）
- ・講師派遣事業の実施
- ・会員意見交換会の実施（自由な意見交換とレクリエーション）
- ・実践研究会の実施（各実践研究会）

#### ②交流研修事業部会

- ・まちづくり研修会の実施（1回）
- ・会員情報交流会の実施（勉強会、事業見学会、視察会、学生向けトークイベント）

#### ③情報広報関連事業部会

- ・年間活動報告書作成
- ・HPのリニューアルを受けた運用マニュアルの作成
- ・HP内ブログ更新およびメーリングリスト配信
- ・座談会の実施

#### ④多様な情報コンテンツを効率的に提供するホームページの運用

2019年度に行った協議会ホームページのリニューアルに対応し、各部会、研究会における記事更新のルール確立と効率的な運用を進める。

(4) 事業スケジュール

2020年度	総務関連	まちづくり 支援事業部会	交流研修 事業部会	情報広報 関連事業部会
4月	事業企画会議			
5月	理事会 定期総会			
6月		会員意見交換会		
7月			会員情報交流会	
8月			会員情報交流会	2019年度報告書
9月	事業企画会議		会員情報交流会	
10月	理事会	会員意見交換会		座談会
11月			まち研	
12月				
1月	新年交礼会			
2月	事業企画会議			
3月	理事会			

※連絡会議、各部会会合、実践研究会は適宜開催

## (5) 重点取り組み事項

### 『4つの取組みの継続と10周年に向けた準備』

事業報告に示した2019年度の重点取組事項である4つの取組みについては、今年度も継続して実施することとし、昨年度の成果を踏まえて本年度の課題を設定する。

#### 1) 4つの取組みの継続

##### ①事業企画会議の開催

- ・昨年度は3回の開催の計画に対し、2回の開催となった。今後は、開催時期を含めて会議運営を検討し、3回の開催を実現する。

##### ②会員の部会参加に関する周知徹底

- ・昨年度は新規入会員については参加部会登録の案内を行ったが、既往会員への案内は現在検討段階である。原則として今年度から実施することとする。

##### ③部会活動・研究会活動（1号研究会）のPR（チラシの作成と配布）

- ・昨年度は、作成したチラシについては、必要に応じて掲載内容の更新を行い、随時会合等での配布、HPへの記載を行う。

##### ④リニューアルしたホームページの運用ルールの確立と実践

- ・2019年度に行った協議会ホームページのリニューアルに対応し、各部会、研究会における記事更新のルールの確立と効率的な運用を進める。

#### 2) 10周年に向けた準備

協議会は来年度に設立より10周年を迎えることから、本年度は10周年における特別事業等の開催を見込んだ準備の年と位置づけ、10周年事業の企画立案を行う。これまで主に当該年度の事業企画を検討してきた事業企画会議や各種部会、常務理事会等において、10周年に向けた企画検討を併せて行うこととする。

##### ①10周年事業の企画立案

これまで主に当該年度の事業企画を検討してきた専門部会連絡会議や各種部会、常務理事会等において、10周年に向けた企画検討を併せて行うこととする。

##### ②海外視察企画の検討

今年2月の新年交礼会において一部アナウンスを行った「2021年度海外視察旅行」について、会員向けのアンケート（希望、意見の聴取）や具体的な企画づくりを進める。

## ■ 2020年度収支計画

自 2020年4月1日～至 2021年3月31日

### □ 収入の部

(単位：円)

科 目			2019年度 (参考)	2020年度	差 額	備 考
大科目	中科目	小科目	①予算額	②予算額	②-①	
入会金収入			55,000	110,000	55,000	
	法人正会員		45,000	105,000	60,000	新7社
	個人正会員		10,000	5,000	-5,000	新1名
会費収入			1,775,000	1,960,000	185,000	
	法人正会員		1,530,000	1,740,000	210,000	58社
	個人正会員		225,000	200,000	-25,000	28名
		各士法の事務所	75,000	60,000	-15,000	4名
		個人事業主	40,000	40,000	0	4名
		上記以外の個人	110,000	100,000	-10,000	20名
	賛助会員		20,000	20,000	0	2団体
事業収入			1,080,000	1,070,000	-10,000	
	受託支援事業		1,000,000	1,000,000	0	
	交流研修事業		80,000	70,000	-10,000	
		説明会・講習会 事業収入	80,000	70,000	-10,000	
雑収入			0	0	0	
	受取利息		0	0	0	
	雑収入		0	0	0	
寄付金収入			0	0	0	
	寄付金収入		0	0	0	
当期収入計(A)			2,910,000	3,140,000	230,000	
前期繰越収支差額			3,930,000	3,783,000	-147,000	
収入合計(B)			6,840,000	6,923,000	83,000	

□ 支出の部

(単位：円)

科 目			2019年度 (参考)	2020年度	差 額	備 考
大科目	中科目	小科目	①予算額	②予算額	②-①	
事業費			1,587,000	1,801,000	214,000	
	自主支援事業費		150,000	125,000	-25,000	
	受託支援事業費		850,000	850,000	0	
		外注費他	850,000	850,000	0	
	交流研修事業費		522,000	633,000	111,000	
		説明会・講習会 事業費	522,000	633,000	111,000	
	情報関連事業費		55,000	183,000	128,000	
	環境取組事業費		10,000	10,000	0	
管理費			1,649,000	1,281,000	-368,000	
	会議費		30,000	42,000	12,000	
	事務費		1,265,000	903,000	-362,000	
		旅費交通費	10,000	70,000	60,000	
		通信費	106,000	110,000	4,000	
		印刷製本費	0	0	0	
		広報費	854,000	351,000	-503,000	
		消耗品費	96,000	43,000	-53,000	
		リース料	0	0	0	
		公租公課	70,000	80,000	10,000	法人税 登録免許税
		交際費	20,000	20,000	0	香典、協賛金
		諸会費	0	0	0	
		什器備品費	0	0	0	
		雑費	109,000	229,000	120,000	
	事務所費		354,000	336,000	-18,000	
	設備費		0	0	0	
予備費			74,000	58,000	-16,000	
当期支出 計 (C)			3,310,000	3,140,000	-170,000	
次期繰越収支差額 (B - C)			3,530,000	3,783,000	253,000	
支出 合計			6,840,000	6,923,000	83,000	

(単位：円)

当期収支 (A - C)	-400,000	0	400,000	
--------------	----------	---	---------	--